

はじめに

平素より地域の感染症対策にご協力いただきありがとうございます。
医療機関向け情報には **⑤** を、一般施設向け情報には **④** をつけています。
原則毎月第2・4木曜日に配信し、新たな通知や感染症情報等がある場合、随時臨時号を配信いたします。
全数報告：第48～49週（11月25日～12月8日） 定点報告：第45～49週（11月4日～12月8日）

全数報告疾患情報

⑤

—— 市川保健所管内で報告のあった疾患のみ掲載しています

※定点報告疾患については、第45～49週のグラフを別添しております

2類感染症	48～49週	累計（年）
結核	6	116

4類感染症	48～49週	累計（年）
レジオネラ症	1	19

5類感染症	48～49週	累計（年）
百日咳	1	6
侵袭性肺炎球菌感染症	1	12
梅毒	1	36

発生動向トピックス

⑤

④

Topics1

感染性胃腸炎の季節が到来します！
ピーク到来前に対策を振り返りましょう



感染性胃腸炎の発生は、例年12月の中旬頃にピークとなる傾向があります。この時期に発生する感染性胃腸炎のうち、特に集団発生事例の多くは、ノロウイルスによるものとされています。

ノロウイルスは、手指や食品等を介して、経口で感染し、ヒトの腸管でウイルスが増殖します。嘔吐や下痢、腹痛等を引き起こし、健康な方は軽症で回復しますが、乳幼児や高齢者等では重症化したり、吐物を誤って気道に詰まらせ死亡することがあります。

これからの季節において、クリスマス会や餅つき大会等のイベントが感染症や食中毒の発生原因とならないよう開催方法や感染対策について検討しましょう。

当所においては、各施設における感染性胃腸炎の集団発生事例は、12月～1月に増加する傾向です(図1)。集団発生があった

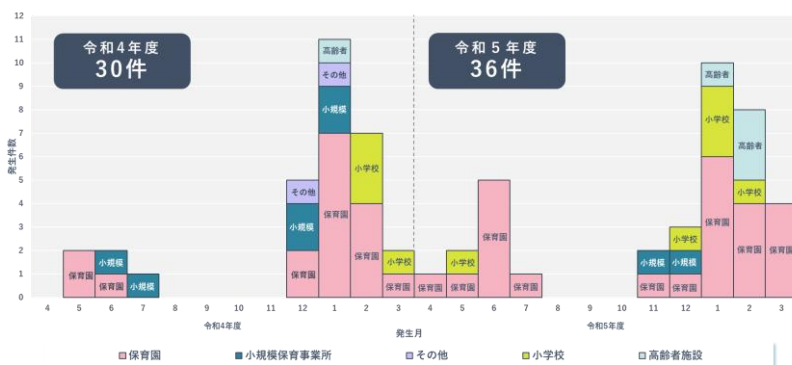
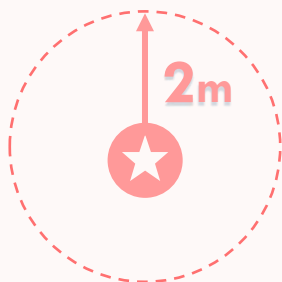


図1 市川保健所における感染性胃腸炎集団発生件数の推移,令和4年度～令和5年度

施設に対して、必要に応じて現地調査を行い、感染対策についての助言や原因を明らかにするための検便検査を行っております。現地調査時によく助言する感染対策についての一部をまとめておりますのでご参考ください。流行のピーク前に一度、施設での感染対策を振り返ることをお勧めします。

嘔吐箇所の消毒範囲



嘔吐物が少量であっても、
広範囲に飛散している
可能性があります。

嘔吐箇所から半径2mの
消毒範囲を確保しましょう。

手指衛生



感染性胃腸炎は、汚染された手や
食品等を介して口から感染します。
こまめな手洗いを心がけましょう。

特に、**トイレ後**、**食事前**は
必ず手を洗いましょう。

対応切り替え基準の設定

消毒回数
増加

手洗い
徹底

個人防護
具の着用
徹底

いつから発生時対応に切り替えたらい
いか分からず、初動の遅れを防ぐ
ために**基準**を設けましょう。

例えば、流行期(12月～1月)の場合は、
**消化器症状を呈する利用者が1名でも
発生したら対応を切り替えること**を
お勧めします。

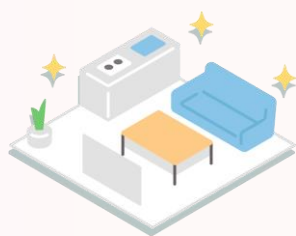
健康観察



日頃から健康観察等で**得られた情報**を
集約し、通常の発生動向と異なる点
がないかどうか等を迅速に確認する
ことが重要です。

得られた情報は、1つの媒体に集約し、
可能であれば欠席者数等をグラフ化
して可視化できるようにしましょう。

環境消毒



施設内で感染者が発生している場合は、
環境消毒の回数を

1日2回以上に増やしましょう。

特に、よく触るような**手すり**や**トイレ**
はこまめに消毒しましょう。

次亜塩素酸ナトリウム
希釈濃度

嘔吐箇所の消毒

0.1%

環境消毒

0.02~0.05%

【参考】厚労省：ノロウイルスに関するQ&A

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html#01

【参考】こども家庭庁：保育所における感染症対策ガイドライン（2018年改訂版）

https://www.cfa.go.jp/assets/contents/node/basic_page/field_ref_resources/e4b817c9-5282-4ccc-b0d5-ce15d7b5018c/cd6e454e/20231010_policies_hoiku_25.pdf

【参考】高齢者介護施設における感染対策マニュアル

<https://www.mhlw.go.jp/topics/kaigo/osirase/tp0628-1/dl/130313-01.pdf>

Topics2

伝染性紅斑(リンゴ病)が警報基準値を上回りました

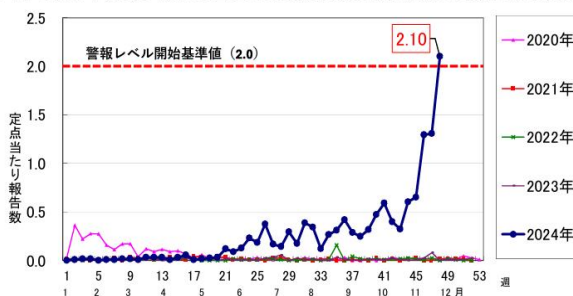
千葉県において、令和6年第48週の定点当たり報告数が2.10となり、国が定める警報基準値の2.0を上回りました(図1)。伝染性紅斑は、ヒトパルボウイルスB19が原因で起こる発疹性の疾患です。飛沫感染、接触感染が主です。

典型例では、10~20日の潜伏期間を経て、頬に蝶翼状の紅斑が出現し、手・足に網目状等と表現される発疹がみられます。発疹が出現する前の風邪様症状の時期が最も感染性が強く、紅斑が出現した時点では周囲への感染性はほとんどないとされています。

ほとんどの場合、合併症を起こさず自然に軽快しますが、妊娠中(特に、妊娠初期)に感染した場合は、まれに胎児の異常や流産が生じることがあります。

ワクチンはありません。手洗いの励行や咳エチケット等の基本的な感染対策の実施を徹底しましょう。特に、妊娠中あるいは妊娠の可能性のある方は、人混みや症状がある方との接触の機会は可能な限り避けましょう。

2020年から2024年(令和6年)第48週までの県内の伝染性紅斑の定点当たり患者報告数の推移



【参考】千葉県：伝染性紅斑（リンゴ病）の流行について

<https://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/press/2024/documents/241204ringo.pdf>

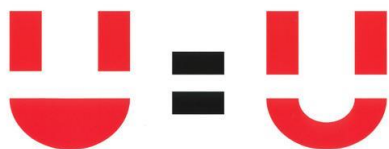


Topics3

毎年12月1日は世界エイズデーです！

毎年12月1日は世界エイズデー(World AIDS Day)です。世界レベルでエイズのまん延防止と患者・感染者に対する差別・偏見の解消を目的に、WHOが1988年に制定しました。各国でエイズに関する啓発活動が行われています。

また、“U=U”という言葉をご存知ですか。抗HIV療法を継続することで血中のウイルス量が検出限界値未満の場合(Undetectable)は、他の人に性行為を通じてHIV感染させることは一切ない(Untransmittable)ことを伝えるためのメッセージです。このメッセージは、HIVをめぐる差別や偏見をなくすことを最大の狙いとしています。



Undetectable = Untransmittable
検出限界値未満はHIV感染しない

STOP AIDS

12月1日は世界エイズデー



市川保健所管内における届出数は横ばいで推移しており、男性の届出が多くなっています(図1)。感染経路は、同性間性的接触が多い傾向です(図2)。

【参考】厚労省：12月1日は「世界エイズデー」 <https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/eizu/index.html>
【参考】U=U Japan Project：<https://hiv-uujapan.org/>

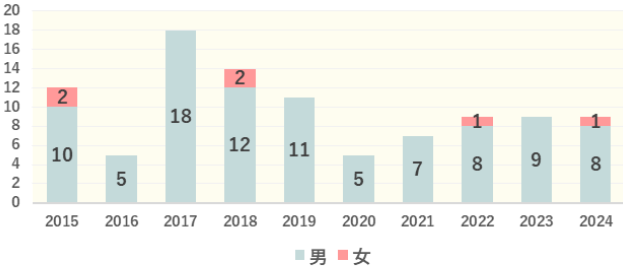


図1：市川保健所における後天性免疫不全症候群（HIV感染症含む）届出推移、性別、2015年～2024年（～第49週）、n=99

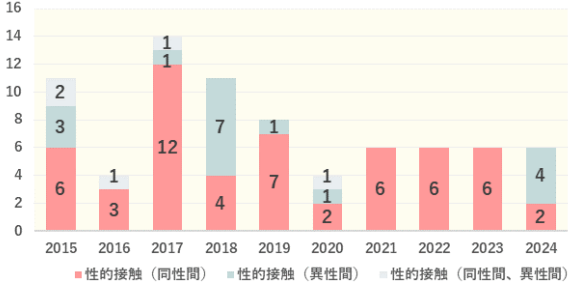


図2：市川保健所における後天性免疫不全症候群（HIV感染症含む）届出推移、感染経路別、2015～2024（～第49週）

市川保健所におけるHIV等性感染症検査

詳細は市川保健所ホームページを御確認ください！
<https://www.pref.chiba.lg.jp/kf-ichikawa/kenkousoudan/hiv.html>

検査項目	HIV / 梅毒 / クラミジア / 淋菌 / B型肝炎 / C型肝炎
検査日	第1、第3木曜日（偶数月は第3木曜日に夜間検査あり）
注意事項	症状のある方は医療機関を受診するようお願いいたします

インフルエンザ感染症

医 全

—— 定点医療機関における感染者数の報告は増加傾向です

市川保健所管内インフルエンザ発生状況（人）

	A型	B型	A+B型	AorB型※	臨床診断
報告数	229	3	1	0	2

※型非鑑別キット

（医療機関からの型報告なく不明な 32 例を除く）

2024年第48週～第49週における
定点各医療機関からのインフル
エンザ報告数をまとめた表です

第49週の千葉県全体の定点当たり報告数は、13.23(人)でした(図1)。市川管内の報告数は、9.33(人)でした(図2)。

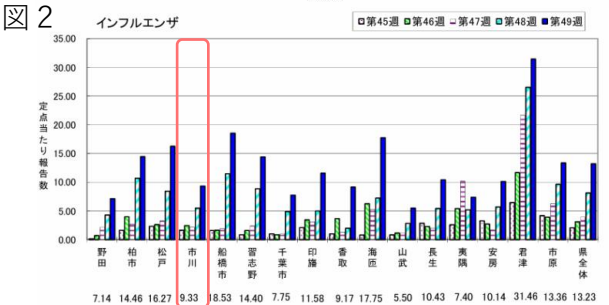
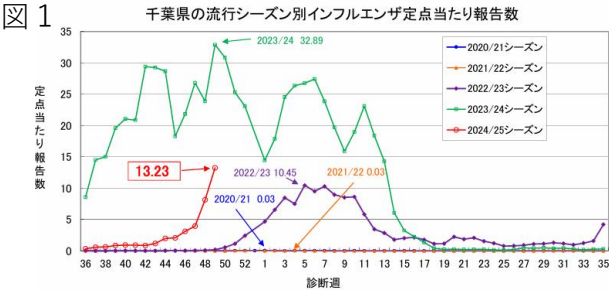
第49週に千葉県内で報告のあった2460例のうち、A型2386例(97%)、B型15例(0.6%)であり、A型が多い状況です。

感染対策

- ①手洗い・手指衛生
- ②マスクの着用・咳エチケット
- ③室内の換気
- ④室内の湿度の保持
- ⑤人込みを避ける
- ⑥ワクチン接種

【参考】千葉県感染症情報センター
<https://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/c-idsc/documents/202449influenza.pdf>

【参考】厚労省：インフルエンザQ&A
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/infulenza/QA2024.html



—— 定点医療機関による感染者数の報告は増加傾向です

第49週の千葉県全体の定点当たり報告数は、3.13(人)でした(図1)。報告数が多かった地域は、君津5.62(人)、長生4.71(人)、夷隅4.60(人)でした。

市川保健所管内の報告数は、前週より増加し、2.50(人)となっています(図2)。

【参考】千葉県感染症情報センター

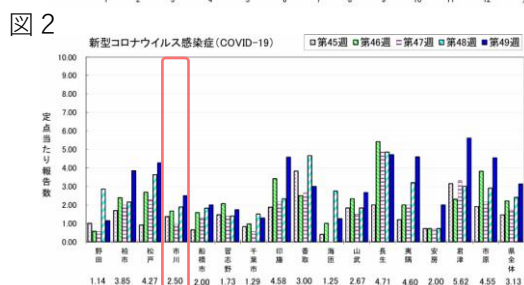
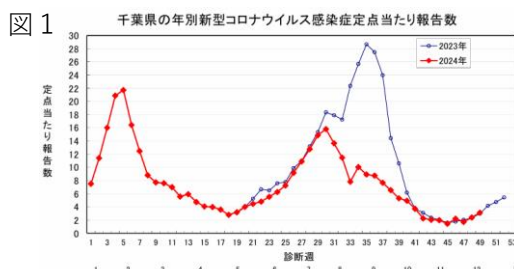
<https://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/c-idsc/documents/202449covid19.pdf>

【参考】千葉県:新型コロナウイルス感染症について

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kenfuku/kansenshou/ncov/covid19-chiba-index.html>

感染
対策

インフルエンザを予防する
方法と同様です



お知らせ

医 全

- ・【医療機関の皆様へ】1~4類感染症及び5類感染症の一部(麻しん・風しん・侵袭性髄膜炎菌感染症)の発生届をご提出いただく際は、発生届のご提出と併せて保健所までお電話をお願いいたします
※閉庁時にお電話いただいた場合、「千葉県保健所夜間休日受付センター」の連絡先のアナウンスが流れますので、当該センターにご連絡をお願いいたします
- ・登録アドレスの廃止、変更等は下記アドレスまでご連絡をお願いします
- ・いちうら感染症情報は、毎月第2・4木曜日を配信予定としていますが、事情により配信が遅れる場合があることをご了承ください
- ・いちうら感染症情報の内容は主に公的機関の情報を基に作成し、できる限り最新で正確な情報発信に努めておりますが、各登録機関の責任においてご利用ください
- ・また、メールの安全性についても千葉県の情報セキュリティ対策により安全性の確保を図っておりますが、各登録機関におかれましてもセキュリティ等の注意をお願いいたします



配
信
元

千葉縣市川健康福祉センター
(市川保健所)
いちうら感染症情報
ichiurainf@pref.chiba.lg.jp

市川保健所管内の感染症発生動向（最近5週）

